

国民健康保険税条例の改正について(税率改正にあたっての基本的な考え方)

1 改正の趣旨

国民健康保険（以下「国保」という。）は、国民すべてがいつでもどこでも安心して医療が受けられる“国民皆保険制度”の中核を担い、地域医療の確保や地域住民の健康の維持増進に貢献してきました。本市においては、全市民のうち、人口で 20.6%、世帯で 31.7%が国保に加入（令和 3 年 10 月末現在）しています。

しかしながら、国保は、対象者が広範囲で、被用者保険に比べて中高年齢者が多く加入していることから、医療費が増加する一方、保険税負担能力が弱い方々の加入割合が高いという構造的な問題を抱え、厳しい財政運営を強いられています。

国民皆保険制度の“最後の砦（セーフティネット）”である国保の運営を安定化させていくことは、我が国の社会保障制度上、非常に重要な課題となっています。このことに対して、国は国保に対する年間 3,400 億円の財政支援を行い、国保の財政基盤の強化を大きな柱とする新たな国保制度が平成 30 年 4 月に施行されました。この制度改革により、都道府県が国保の財政運営に係る責任主体を担うこととなり、市町村が個々に運営していた国保事業は、新たに導入された納付金制度により県内全市町による相互扶助の仕組みに変更されました。静岡県が策定する「静岡県国民健康保険運営方針」では、事業費納付金や事業の実施に係る経費を賄うために必要な保険税率（標準保険料率）を設定し、目標とする収納額を確保することにより、市町国保特別会計の収支を均衡させることを原則としています。

このような状況の中、本市の国保事業を健全かつ安定的に運営していくためには、被保険者の負担感に配慮しながら、保険料水準の統一に向けた県の運営方針や赤字削減・解消計画に適切に対応していく必要があることから、段階的かつ計画的な税率及び賦課方式の改正を行うものです。

2 国保税率設定の基本的な考え方

本市は、平成 20 年度の医療制度改革（後期高齢者医療制度の創設等）に伴う税率改正以降、賦課限度額の引上げ以外の税率改正を実施しておらず、国保特別会計の収支均衡のため、一般会計からの法定外繰入に依存する状況が続いています。

県の運営方針では、財政収支の改善に係る基本的な考え方として、「市町は、保険料率の適正な設定、収納率向上対策、医療費適正化等の実施により、単年度の収支の均衡に努める。」こととされており、国（厚労省）も、今後の課題を保険料水準の統一と法定外繰入（赤字）の解消として、国保運営方針に関する法改正が行われています。また、法定外繰入は、国保加入者以外の市民にも負担を強いることとなり、本来は望ましくないものであるため、目標年次を定めて解消していく必要があります。

3 国保税率の改正方針

- (1) 将来的な保険料水準の統一化に向け、本市の税率及び賦課方式を県が算定する標準保険料率に段階的に近づける。
- (2) 県の運営方針に定められた「賦課方式の統一の取組」(医療給付費分は3方式とし、後期高齢者支援金分、介護納付金分とも資産割は使用しないことを目標とする。)に合わせるため、資産割は段階的に廃止する。
- (3) 毎年度、県が示す標準保険料率により調定見込額を試算し、財政状況を検証するとともに、必要に応じて改正計画の見直しを行う。

4 現行税率と標準保険料率

| 内 訳 | | | 令和3年度 磐田市税率 A | 令和3年度 標準保険料率 B | 比 較 A-B |
|-----------------------|-----|-----|---------------------|----------------------|------------|
| 医療給付費分 | 応能割 | 所得割 | 4.40% | 6.60% | ▲2.20ポイント |
| | | 資産割 | 30.00% | — | +30.00ポイント |
| | 応益割 | 均等割 | 19,800円 | 26,264円 | ▲6,464円 |
| | | 平等割 | 21,600円 | 18,443円 | +3,157円 |
| 後期高齢者支援金分 | 応能割 | 所得割 | 1.40% | 2.55% | ▲1.15ポイント |
| | | 資産割 | 5.00% | — | +5.00ポイント |
| | 応益割 | 均等割 | 7,200円 | 10,050円 | ▲2,850円 |
| | | 平等割 | 6,600円 | 7,057円 | ▲457円 |
| 介護納付金分 (40歳～64歳のみ) | 応能割 | 所得割 | 0.90% | 2.29% | ▲1.39ポイント |
| | | 資産割 | 4.50% | — | +4.50ポイント |
| | 応益割 | 均等割 | 6,000円 | 16,506円 | ▲10,506円 |
| | | 平等割 | 4,200円 | — | +4,200円 |
| 計 | 応能割 | 所得割 | 6.70% | 11.44% | ▲4.74ポイント |
| | | 資産割 | 39.50% | — | +39.50ポイント |
| | 応益割 | 均等割 | 33,000円 | 52,820円 | ▲19,820円 |
| | | 平等割 | 32,400円 | 25,500円 | +6,900円 |

磐田市の標準保険料率の推移

| 年度 | 医療給付費分 | | | 後期高齢者支援金分 | | | 介護納付金分 | |
|-----|--------|---------|---------|-----------|---------|--------|--------|---------|
| | 所得割 | 均等割 | 平等割 | 所得割 | 均等割 | 平等割 | 所得割 | 均等割 |
| H30 | 6.32% | 24,159円 | 17,388円 | 2.32% | 9,036円 | 6,503円 | 2.09% | 14,208円 |
| R01 | 6.83% | 26,359円 | 18,763円 | 2.49% | 9,733円 | 6,928円 | 2.16% | 15,308円 |
| R02 | 6.81% | 26,921円 | 18,932円 | 2.42% | 9,557円 | 6,721円 | 2.21% | 15,978円 |
| R03 | 6.60% | 26,264円 | 18,443円 | 2.55% | 10,050円 | 7,057円 | 2.29% | 16,506円 |

【現行税率と標準保険料率との乖離】

令和3年度の現行税率及び標準保険料率に基づき、それぞれ令和3年10月末現在の被保険者（34,698人）を対象に国保税を算定しますと、**総額で約7億円、被保険者一人あたり約2万円の乖離**が生じています。

国保税算定額の比較

| | 現行税率に基づく 国保税額（A） | | 標準保険料率に基づく 国保税額（B） | | 差 額 （A）－（B） | |
|-----|---------------------|---------|-----------------------|----------|----------------|----------|
| | 総額 | 一人あたり | 総額 | 一人あたり | 総額 | 一人あたり |
| 医療分 | 22.4億円 | 64,722円 | 25.2億円 | 72,736円 | -2.8億円 | -8,014円 |
| 後期分 | 6.8億円 | 19,706円 | 9.5億円 | 27,335円 | -2.7億円 | -7,629円 |
| 介護分 | 1.7億円 | 17,046円 | 3.2億円 | 32,459円 | -1.5億円 | -15,413円 |
| 計 | 30.9億円 | 89,208円 | 37.9億円 | 109,174円 | -7.0億円 | -19,966円 |

5 国保税率の改正計画（答申内容ベース・緩和策反映前）

| | | 現行 | 1回目（R04） | 2回目（R06） | 3回目（R08） | 4回目（R10） |
|-----|-------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 医療分 | 所得割 | 4.40% | 5.05% | 5.65% | 6.30% | 6.60% |
| | 資産割 | 30.00% | 20.00% | 10.00% | — | — |
| | 均等割 | 19,800円 | 21,600円 | 23,600円 | 25,600円 | 26,200円 |
| | 平等割 | 21,600円 | 20,500円 | 20,000円 | 19,000円 | 18,400円 |
| 後期分 | 所得割 | 1.40% | 1.70% | 2.00% | 2.25% | 2.50% |
| | 資産割 | 5.00% | 2.50% | — | — | — |
| | 均等割 | 7,200円 | 8,100円 | 9,100円 | 9,500円 | 10,000円 |
| | 平等割 | 6,600円 | 6,700円 | 6,800円 | 6,900円 | 7,000円 |
| 介護分 | 所得割 | 0.90% | 1.30% | 1.60% | 1.80% | 2.20% |
| | 資産割 | 4.50% | 2.00% | — | — | — |
| | 均等割 | 6,000円 | 8,800円 | 12,800円 | 15,600円 | 16,500円 |
| | 平等割 | 4,200円 | 2,100円 | — | — | — |
| 調定額 | 総額 | 30.9億円 | 32.6億円 | 34.3億円 | 36.0億円 | 37.7億円 |
| | 増加額 | | 1.7億円 | 1.7億円 | 1.7億円 | 1.7億円 |
| | 一人あたり | 89,208円 | 94,062円 | 98,934円 | 103,754円 | 108,604円 |
| | 増加額 | | 4,854円 | 4,872円 | 4,820円 | 4,850円 |

* 調定額は、令和3年10月末現在の被保険者で算定した結果

県の運営方針では、「令和9年度までに保険料水準の統一を目指す。」こととされていますが、被保険者の負担感に配慮し、急激な負担増を回避するため、当面のところ、令和4年度から令和10年度まで2年ごと4回の改正で歳入不足額（令和3年度の現行税率と標準保険料率に基づく算定額の差額：約7億円・被保険者一人あたり約2万円）を段階的に解消する計画を基本とします。

6 令和4年度の国保税率（案）・・・緩和策反映ベース

| 内 訳 | | 令和3年度 磐田市税率 A | 令和4年度 条例改正案 B | 比 較 B-A | 令和4年度 答申ベース C | 比 較 B-C | |
|-----------------------|-------|---------------------|---------------------|------------|---------------------|------------|-----------|
| 医療給付費分 | 応能割 | 所得割 | 4.40% | 4.90% | +0.50ポイント | 5.05% | ▲0.15ポイント |
| | | 資産割 | 30.00% | 20.00% | ▲10.00ポイント | 20.00% | 増減なし |
| | 応益割 | 均等割 | 19,800円 | 21,600円 | +1,800円 | 21,600円 | 増減なし |
| | | 平等割 | 21,600円 | 20,400円 | ▲1,200円 | 20,500円 | ▲100円 |
| 後期高齢者支援金分 | 応能割 | 所得割 | 1.40% | 1.70% | +0.30ポイント | 1.70% | 増減なし |
| | | 資産割 | 5.00% | 2.50% | ▲2.50ポイント | 2.50% | 増減なし |
| | 応益割 | 均等割 | 7,200円 | 7,800円 | +600円 | 8,100円 | ▲300円 |
| | | 平等割 | 6,600円 | 6,600円 | 増減なし | 6,700円 | ▲100円 |
| 介護納付金分 (40歳～64歳のみ) | 応能割 | 所得割 | 0.90% | 1.30% | +0.40ポイント | 1.30% | 増減なし |
| | | 資産割 | 4.50% | 2.00% | ▲2.50ポイント | 2.00% | 増減なし |
| | 応益割 | 均等割 | 6,000円 | 8,400円 | +2,400円 | 8,800円 | ▲400円 |
| | | 平等割 | 4,200円 | 1,800円 | ▲2,400円 | 2,100円 | ▲300円 |
| 計 | 応能割 | 所得割 | 6.70% | 7.90% | +1.20ポイント | 8.05% | ▲0.15ポイント |
| | | 資産割 | 39.50% | 24.50% | ▲15.00ポイント | 24.50% | 増減なし |
| | 応益割 | 均等割 | 33,000円 | 37,800円 | +4,800円 | 38,500円 | ▲700円 |
| | | 平等割 | 32,400円 | 28,800円 | ▲3,600円 | 29,300円 | ▲500円 |
| 調定額 | 総額 | 30.9億円 | 32.1億円 | +1.2億円 | 32.6億円 | ▲0.5億円 | |
| | 一人あたり | 89,208円 | 92,675円 | +3,467円 | 94,062円 | ▲1,387円 | |

* 調定額は、令和3年10月末現在の被保険者で算定した結果

令和4年度の税率案は、答申を尊重しつつもコロナ禍の現状を鑑み、答申による税率案を調定見込額の一人あたり平均増加額ベースで3割程度緩和した条例改正案（税率改正案）とします。（11月市議会定例会へ上程予定）

令和3年10月末現在の被保険者を対象として試算しますと、国保税算定額は総額で約32.1億円（現行税率による試算より1.2億円の増加）、被保険者一人あたりの平均では92,675円（同：3,467円の増加）となります。

答申ベースとの比較では、総額で約4,800万円、被保険者一人あたり平均で1,387円（4,854円⇒3,467円・28.6%）増加額を緩和することとなります。

国保税算定額の比較

| | 答申に基づく 国保税額（A） | | 条例改正案に基づく 国保税額（B） | | 差 額 （B）－（A） | |
|-----|-------------------|---------|----------------------|---------|----------------|---------|
| | 総額 | 一人あたり | 総額 | 一人あたり | 総額 | 一人あたり |
| 医療分 | 23.1億円 | 66,701円 | 22.8億円 | 65,720円 | -0.3億円 | -981円 |
| 後期分 | 7.5億円 | 21,538円 | 7.4億円 | 21,272円 | -0.1億円 | -266円 |
| 介護分 | 2.0億円 | 20,762円 | 1.9億円 | 20,264円 | -0.1億円 | -498円 |
| 計 | 32.6億円 | 94,062円 | 32.1億円 | 92,675円 | -0.5億円 | -1,387円 |

* 令和3年10月末現在の被保険者で算定した結果

【 答申ベースと条例改正案の比較 】

| | 答申ベース A | 条例改正案 B | B - A |
|--------------|----------|----------|----------|
| 一世帯あたりの調定見込額 | 148,421円 | 146,232円 | ▲2,189円 |
| 調定見込額が増加する世帯 | | | |
| 世帯数 | 16,936世帯 | 16,305世帯 | ▲631世帯 |
| 割合 | 77.0% | 74.2% | ▲2.8ポイント |
| 平均増加額 | 14,146円 | 11,857円 | ▲2,289円 |
| 調定見込額が減少する世帯 | | | |
| 世帯数 | 4,897世帯 | 5,529世帯 | 632世帯 |
| 割合 | 22.3% | 25.1% | 2.8ポイント |
| 平均減少額 | 10,458円 | 10,440円 | ▲18円 |

| 増減額/年 (増減額/月) | 答申ベース | | 条例改正案 | |
|-------------------------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| | 増加世帯 | 減少世帯 | 増加世帯 | 減少世帯 |
| 0円～3,000円 (0円～250円) | 6,529世帯 | 1,573世帯 | 6,899世帯 | 1,796世帯 |
| | 29.7% | 7.2% | 31.4% | 8.2% |
| 3,001円～5,000円 (251円～416円) | 1,254世帯 | 872世帯 | 1,268世帯 | 928世帯 |
| | 5.7% | 4.0% | 5.8% | 4.2% |
| 5,001円～10,000円 (417円～833円) | 2,449世帯 | 1,128世帯 | 2,539世帯 | 1,321世帯 |
| | 11.1% | 5.1% | 11.5% | 6.0% |
| 10,001円～30,000円 (834円～2,500円) | 4,714世帯 | 1,064世帯 | 4,132世帯 | 1,186世帯 |
| | 21.4% | 4.8% | 18.8% | 5.4% |
| 30,001円～50,000円 (2,501円～4,166円) | 1,208世帯 | 138世帯 | 918世帯 | 168世帯 |
| | 5.5% | 0.6% | 4.2% | 0.8% |
| 50,001円～100,000円 (4,167円～8,333円) | 699世帯 | 92世帯 | 508世帯 | 99世帯 |
| | 3.2% | 0.4% | 2.3% | 0.5% |
| 100,001円～ (8,334円～) | 83世帯 | 30世帯 | 42世帯 | 31世帯 |
| | 0.4% | 0.1% | 0.2% | 0.1% |
| 計 | 16,936世帯 | 4,897世帯 | 16,306世帯 | 5,529世帯 |
| 最高額 | 140,500円 (11,708円) | ▲214,100円 (▲17,842円) | 123,700円 (10,308円) | ▲214,600円 (▲17,883円) |

答申ベースによる税率等の引上げ幅を一部緩和することで、税負担が増える世帯を抑制する案としています。また、中間所得層や加入者数が多い世帯などに配慮し、年税額が1万円以上増加すると見込まれる世帯が6,704世帯から5,600世帯へと約1,100世帯(16.5%)抑制する案としています。

7 国保税の賦課限度額及び軽減判定基準額に係る規定の改正

【改正要旨】：国保税の賦課限度額及び軽減判定基準額の政令引用

国は、賦課限度額及び軽減判定基準額について、ほぼ毎年度政令（地方税法施行令）により変更を行っています。（令和3年度は変更なし。）

市は、賦課限度額については政令の改正よりも一年遅れで条例改正を行い、軽減判定基準額については、専決処分により条例改正を行っていますが、令和4年度からは本市条例を国が定める政令の改正と連動するよう改め、改正反映時期のずれを解消するものとします。

【改正理由】

○市全体の国保税率等を引き上げて、賦課限度額及び軽減判定基準額の改正を行わないと、中低所得者層は増額となる一方で、高所得者層は賦課限度額で頭打ち（前年度と同額）となり、不公平感が生じてしまうため。

○県が定める事業費納付金・標準保険料率は、当該年度の法定限度額を用いて算定されるため、一年遅れで市が改正した場合は、事業費納付金に充てるべき保険税収入に不足が生じることとなるため。

賦課限度額の推移

| 年度 | 地方税法施行令 | | | 磐田市国民健康保険税条例 | | |
|-----|---------|------|------|--------------|------|------|
| | 医療分 | 後期分 | 介護分 | 医療分 | 後期分 | 介護分 |
| H28 | 54万円 | 19万円 | 16万円 | 52万円 | 17万円 | 16万円 |
| H29 | 54万円 | 19万円 | 16万円 | 54万円 | 19万円 | 16万円 |
| H30 | 58万円 | 19万円 | 16万円 | 54万円 | 19万円 | 16万円 |
| R01 | 61万円 | 19万円 | 16万円 | 58万円 | 19万円 | 16万円 |
| R02 | 63万円 | 19万円 | 17万円 | 61万円 | 19万円 | 16万円 |
| R03 | 63万円 | 19万円 | 17万円 | 63万円 | 19万円 | 17万円 |

賦課限度額については、県内35市町中19市町が本市と同様に政令の改正から一年遅れで引上げ（令和3年度に引上げ）を行っていますが、令和3年度は政令の改正が行われなかったため、現在は県内全市町が国の基準どおりの賦課限度額となっています。

令和4年度に賦課限度額の改正が行われ、本市の賦課限度額は従来どおり一年遅れの引上げとした場合、将来的に保険料水準が統一される時に2回分の政令改正の内容を反映させる必要が生じることあり得ます。今回の改正のタイミング（令和4年4月改正）が将来的にも賦課限度額の大幅な増となる危険性が少ないと考えることから改正を行うものです。

【運営協議会への報告】

この改正により、協議会へ諮問する（協議会で審議する）ことなく賦課限度額が改正されることとなりますが、政令の改正が行われた場合、その改正内容や本市の被保険者世帯に係る影響額等について報告させていただくこととします。

8 未就学児に係る国民健康保険税均等割額の減額措置の導入

子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、未就学児に係る国民健康保険税均等割の5割を公費により軽減する制度が創設されました。国・地方の負担割合は、国が1/2、県と市がそれぞれ1/4で、本市の対象者は約750人を見込んでいます。（減額措置の導入による影響額は約800万円で、そのうち約200万円が市の負担となる見込み。）

【制度の内容】

未就学児（6歳に達する日以後の最初の3月31日以前である被保険者）に係る被保険者均等割額について、政令で定める基準に従い、減額するもの。

○対象者

全世帯の未就学児（所得制限は設けられていない）

○減額割合

当該未就学児に係る均等割について5割を公費により軽減する。

※低所得者の7割・5割・2割軽減に該当している世帯の場合は、軽減後の均等割額の5割を軽減する。

○公費の負担割合

国：1/2 県：1/4 市：1/4

○制度の施行時期

令和4年4月1日

影響額（見込）

| 軽減区分 | 対象者数 | 対象世帯数 | 軽減額 | | |
|------|------|-------|------------|---------|---------|
| | | | | 1人あたり | 1世帯あたり |
| 軽減なし | 383人 | 282世帯 | 5,630,100円 | 14,700円 | 19,965円 |
| 7割軽減 | 157人 | 120世帯 | 692,370円 | 4,410円 | 5,770円 |
| 5割軽減 | 113人 | 84世帯 | 830,550円 | 7,350円 | 9,888円 |
| 2割軽減 | 97人 | 67世帯 | 1,140,720円 | 11,760円 | 17,026円 |
| 計 | 750人 | 553世帯 | 8,293,740円 | 11,058円 | 14,998円 |

* 令和3年10月末現在の被保険者で試算